

研究協力のお願

昭和大学病院・昭和大学藤が丘病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

非小細胞肺癌の転移性脊椎腫瘍に対する分子標的薬の効果

1. 研究の対象および研究対象期間

2016年1月から2023年12月に昭和大学病院，昭和大学藤が丘病院整形外科で治療をおこなった非小細胞肺癌転移性脊椎腫瘍の患者さん

2. 研究目的・方法

非小細胞肺癌が脊椎に転移した場合には神経を圧迫し麻痺を生じたり，病的骨折を起こす危険があります。今のところ，分子標的薬がそのような脊椎転移部位でどのような効果があるのかほとんどわかっていません。本研究の目的は非小細胞肺癌の転移性脊椎腫瘍に対する分子標的薬の効果を研究するのが目的です。患者さんの診療録や脊椎のレントゲンやCT結果などで評価をおこないます。

3. 研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2025年12月31日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

患者さんの年齢や性別，診療録から非小細胞肺癌の種類（腺癌，扁平上皮癌，大細胞癌），治療方法（分子標的薬，従来の化学療法，免疫チェックポイント阻害薬，放射線治療の有無），治療経過，経過観察期間などを調査します。

また，画像評価として単純レントゲン，CTの画像検査結果を使用します。

5. 外部への試料・情報の提供

本研究で取得した診療情報は研究責任者が個人の氏名，生年月日，電話番号，また診療情報等の個人を識別できる情報を削除し，研究用のIDを付与することで符号化します。符号化した診療情報は昭和大学病院，昭和大学藤が丘病院の外部から切り離されたコンピューター内にそれぞれ保存され，昭和大学

病院，昭和大学藤が丘病院整形外科（提供元）から昭和大学医学部整形外科講座（提供先）へ研究者のみがアクセスできるオンラインストレージを通じて送付されます。

6．研究組織

研究責任者 昭和大学藤が丘病院 瀬上 和之

7．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属： 昭和大学藤が丘病院

氏名：瀬上 和之

住所： 神奈川県横浜市青葉区藤が丘 1 - 30

電話番号： 045-971-1151